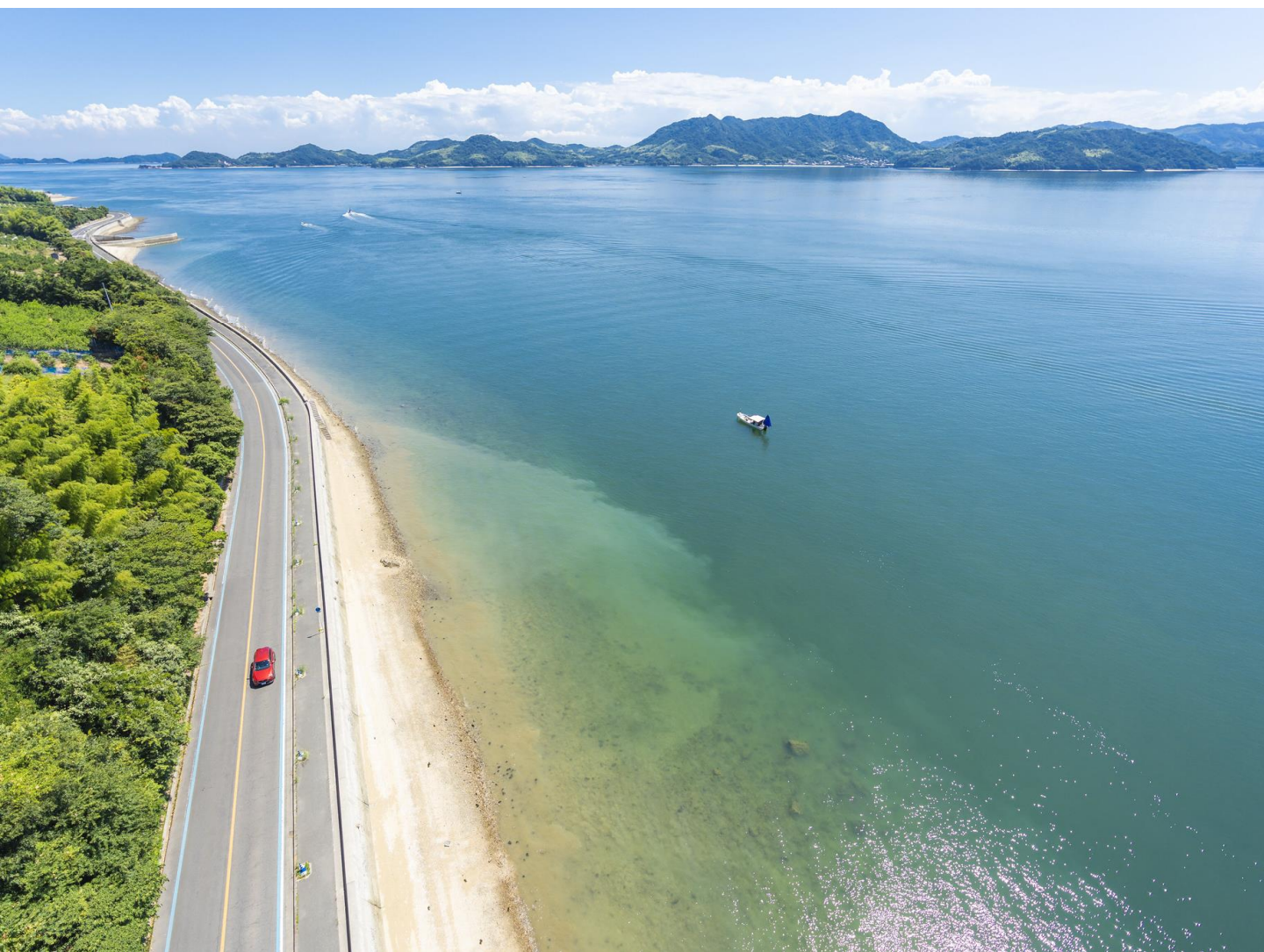


てきおう

No. 16

SEPTEMBER
2026

写真提供：一般社団法人広島県観光連盟



第16号 海面水温と台風

海面水温と台風

海面水温の上昇

日本近海の2025年までの年平均海面水温の上昇率は、100年あたり+1.36℃であり、世界全体の年平均海面水温の上昇率（100年あたり+0.63℃）よりも大きく、日本の気温の上昇率（100年あたり+1.44℃）と同程度の値となっています（海面水温の長期変化傾向（日本近海）令和8年3月5日気象庁発表）。日本近海は海域別で海面水温の上昇率が異なりますが、ほとんどの海域で、海面水温の上昇がみられています。

また、広島県公共用水域水質測定結果（1977～2024年）によると、広島湾（広島湾14、測定地点コード：32000014、採取水深0～0.5m）の水温は、10年あたり0.16℃のペースで上昇しています（図1）。データ取得期間が異なるため単純には比較できませんが、これは日本の年平均海面水温の上昇よりも高い値です。

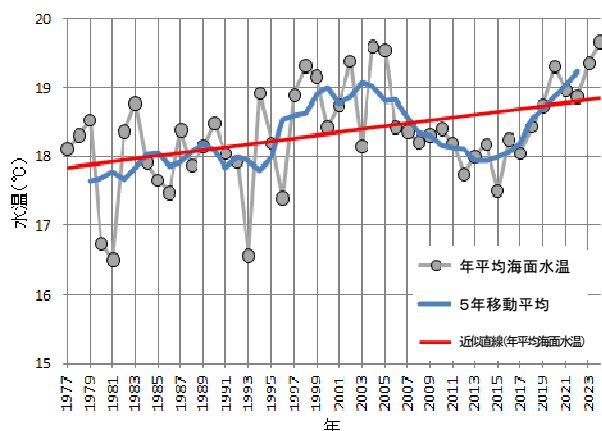


図1 広島湾（広島湾14）海面水温の経年変化
（出典：広島県公共用水域水質測定結果）

大型化する台風

海面水温が高いと大量の水蒸気をエネルギーとして、台風がより発達しやすくなります。

これまでは、日本付近の海面水温が低いため、台風の勢力は日本に近づくと弱まっていた。近年、日本近海まで海面水温が高いため、そのエネルギーを得た大型台風が日本に接近することが増えています。

高潮被害にも注意！

台風の時は、強風、大雨だけでなく、高潮になることがあります。高潮の潮位上昇は、沖から海岸方向に吹く強風によって海水が海岸に吹き寄せられる現象と、気圧低下によって海面が持ち上げられる現象によって発生します。地球温暖化の影響の程度は明らかになっていませんが、広島湾、呉湾の潮位は上昇傾向にあります（図2）。

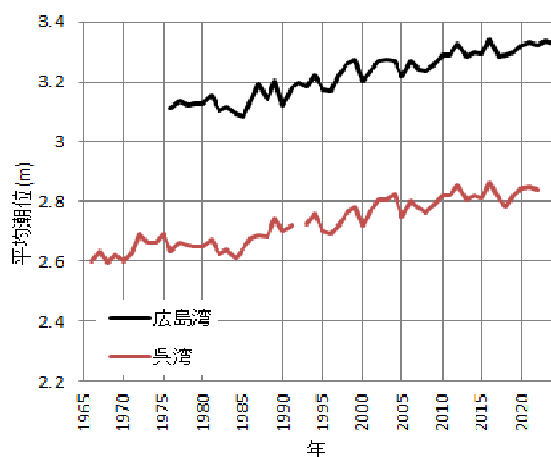


図2 広島県の潮位の経年変化
（出典：海岸昇降検知センター潮位年報）

こうしたことから、過去に比べて勢力が強い台風が接近したり、高潮が発生しやすくなっている可能性があります。

気候変動の影響によって、台風による災害のリスクが高まっていますので、河川の氾濫や土砂災害等も含めた備えを行い、避難情報をチェックして、早めに行動することが重要です。

